

貴金属装身具



宝石の美しさを精緻な技巧が彩る

貴金属装身具は、一般的にジュエリーと称され、デザインを基に金、プラチナ、銀などの貴金属材料を加工し、貴石・真珠等を用いてブローチ、ペンダント、イヤリング、ピアス、指輪等の装身具を製作したものをいいます。経験により培われた技能と、製作者各々の感性により表現されたジュエリーは、長い歴史の中で時代と民族を問わず、多くの人々が創意工夫を凝らして受け継がれています。

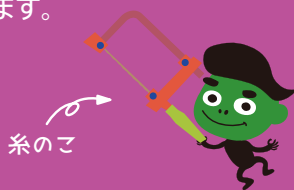


ヤスリ

競技概要 競技時間 10時間(1日目7時間/2日目3時間)

18金地金を使用して左右1セットのピアスを作成します。支給された18金の材料を使用し、課題図に示された作品を製作します。製作工程は選手各々違いますが、課題図に沿ったパーツを材料から切り出し、曲げ、成形及びろう付等の作業を行い組み立てていきます。今回の課題は左右1セットのピアスを差異なく製作し、中央に各3個計6個の石をセットするデザインにしました。正確性を重視すると共に装身具を製作するためのすべての技巧を取り入れた課題内容となっております。

Point



糸のこ

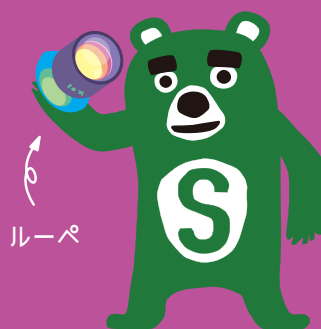
- ① 装身具として美しく、バランス良く組み立てる。
- ② 限られた支給材から、正確に材料取りをして、課題図に示されたように立体的に表現し具現化する。
- ③ 課題図の指定寸法は全て許容差内で仕上げる。
- ④ 競技時間10時間内で全ての工程を終える。



第31回 競技課題

前回大会 金メダリストからメッセージ!

一つ目標に向かって全力で努力するっていう機会があれば、どんどん挑戦してどんどん高みを目指してもらいたいと思います!



ルーペ

SAIJO
森 拓郎 さん